(略称)インドとの円借款取極

計	生	借	借	円	側書簡	目				
画の	産物	款の	款契	借款	簡					
計画の実施の進 捗 状況に関する情報及び資料の提出	生産物又は役務の調達	借款の対象	借款契約の締結及び借款の条件	円借款の供与		次				
	•	•	•	•				平成	平成	平 成
								四年 一月	三年十二月	三年十二月
			:		•)1	/1
•		•	•					十七日	九日	九 日
				•			(外 ※	告示。	効力	ニュ
; 	:	· -		· —	· —		省告	(3)	効力発生	
一 四 五	一 四 五	四四四	四三	四三	四三	ページ	示第一			ニュー・デリーで
-1.14	-11.	드		_		•	(外務省告示第一九号)			で

日本側書簡

1

事業計画表

協議

9 10

借款の適正使用等

8 7

利子等の免税

5

6

生産物の海上輸送及び海上保険

日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与

3 2

一一四八

四六 四六 四六 四六 四五

(日本側書簡)交換公文) (円借款の供与に関する日本国政府とインド

·政府

との

間

の

(訳文)

て日本国政府の代表者とインド政府の代表者と 力 し た次の了 を促進することを目的 書簡をもって啓上いたします。 解を確認する光栄を有します。 として供与される日 本使は、 インドの経済開 本 の間 国 の借 で 最 款 に関し 近 到 発努 達

1 円) この う。)により、 う。)に掲げる計画の実施のため、 されることになる。 定める 六百六十億八千二百万円 (六六、〇八二、〇〇〇、 の 書簡に附 額までの円貨による借款(以下「借款」という。)が 配分に応 日本国 属する事業計画表 じ、 の 海外経済協力基金 関係法令に従って、 各計画 (以下「事業計 (以下「基金」とい につき事業計 1 K 画表」とい 政府 000 に供与 画表に

2 (1) 契約 に基づ 手続は、 借款は、 に いて使 よっ なかんずく て規制 1 用 ンド に 供 政府と基金との間で締結される借款契約 さ れる。 され 次の原則 る。 を 借 款の 含むことに 条件及び使用に な る前 記 関 の でする 借 款

(Japanese Note)

New Delhi, 9th December, 1991

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of India concerning a Japanese loan to be extended with a view to promoting the economic development efforts of India:

- allocation for each project as specified "the Project List"), according to the attached hereto of the projects listed in the Project List of India by the Overseas Economic Cooperation sixty-six billion eighty-two million yen (¥66,082,000,000) (hereinafter referred regulations of Japan for the implementation Fund (hereinafter referred to as "the Fund") "the Loan") will be extended to the Government the Project List. in accordance with the relevant laws and l. A loan in Japanese yen up to the amount (hereinafter referred (hereinafter referred to to as in 0f
- 2. (1) The Loan will be made available by loan agreements to be concluded between the Government of India and the Fund. The terms and conditions of the Loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements which will contain, inter alia, the following principles:

還

間

は、

十年の据置期間の後二十年とする。

- 利子 率 は、 年二・六 パー セントとする。
- の2及び3に掲げる計画については、 に の 支 (出期 日から六年とし、 関係 つい 借款契約の発効の日から三年とし、 間 ては、 は、 事 関係借款契約の発効の日から七年とす 業計 事業計画表の4及び5に掲げる計 画 表の1に掲げる計 関係 借 画 款 事業計 契約 に つ の 画 い 発 表
- 画の (1) に 実 結 いう借 され 行 可能性 る。 款 契 約の各々は、 (環境に対 する配慮を含む。)を確認 基金が当該借款契約に し 係 た る
- (3)長することが (1)(c)に い う支出期 できる。 間 は、 両 政府 の関係当局 の同意を得 て

象借款の対

3 (1) たか又は締結されることのある契約に基づいて行わ な生産物又は役務 ンサル のを対 1 ンド 事業計 玉 象として使用 タントに対 の 国 実施 画表 から供給される役務について行われる。 に お の 機 2 て、 関 して行う支払で、 が の 調 そ に供される。 購入のために両者の間 3 及び4 達適格国の供 れらの国で生産され に掲げる計 ただし、 以給者、 当該計 画に係る借款 当該購 で既に る生産 請 画 一の実施 負業者又はコ 入は、 物又は 締 に必要 れ 結 るも され は、 そ 調

- 匹匹
- (a) (20) years after the grace period of ten The repayment period will be twenty
- (d) The rate of interest will (2.6) per cent per annum. be two point
- Project List from the date of coming and seven (7) years with regard to the mentioned in 2 and 3 of the Project List six (6) years with regard to the projects mentioned in 1 of the Project List, force of the relevant loan agreement projects mentioned in 4 and 5 of the (c) The disbursement period will be into
- after the Fund is satisfied of the feasibility, including environmental consideration, of the project to which in sub-paragraph (1) above will be concluded loan agreement relates. (2) Each of the loan agreements mentioned such
- of the two Governments. with the consent of the authorities concerned sub-paragraph (1) (c) above may be extended (3) The disbursement periods mentioned in
- available to cover payments to be made eligible source countries for products provided that such purchases are made in such for the implementation of the said projects, purchases of products and/or services required been or may be entered into between them for source countries under such contracts as have contractors and/or consultants of eligible Indian executing agencies to suppliers, 2, 3 and 4 of the Project List will be made 3. (1) The Loan for the projects mentioned in produced in and/or services supplied from

て行 生産物又はそれ 該 ル ド の 購 に 実施 タント の 入は、 締結 実施 業計 わ ħ に るも 機関 さ 必要な に対し 画 調達 れ 表の の た が 生産 て既に 6 適 を対 か又は 1及び5に 調 格国 達 の 象 物 適 玉 格国 において、 締 から供 として使用 又は役務 行ったか又は行う支払 結され 一の供 掲げる計画に係る借款 給さ 公給者、 ることのあ の購入のため それらの に供 れる役務に され 請負業者又は る。 国 る契約 で、 ついて行 で生産され に 両 ただ は、 に 者 当該 し、 基 の コンサ 間 わ づ 計 1 当 で れ る V 画

(2)

- (3)間 で (1)合意 及び さ (2) n に る。 い う 調 達 適 格 玉 の 範 囲 は、 両 政 府 の 関 係 当 局
- (4)る。 適 格 借 な 款の一部は、 現 地 通 貨 の 需要に充てるために使用することが 事業計 画 表に掲げる計 画 の 実 施 の た でき 8 の
- 4 調 な か又は適当で 達 かんずく定める。) イ の ンド た め 政府 のガイ ない は、 場 3 ド (1) 及 に従って 合を除 ライン び (2) くほ 国 調 に 達されることを 際入札の手続が V か従うべき国際 う生産物 又は役務が 入札の 確保する。 適用で 手 き 基 ない 続 金 を の
- 5 資料を 事業計 イ ンド 提出する。 画 政 表に掲げる計 府 は、 要請 に 画 の 応 実施 じ、 日本国政府 の進捗状況に関 及び基金に対 する情報 及び し、
- 6 に お 3 い (1)及び てその役務が必要とされ (2)に い う生産 物又は 役務の供 る日本国民 給 ムは、 に 関 作 連 :業の してイ 遂 行 ンド の

- in 1 and 5 of the Project List will be made available to cover payments already made and/or to be made by Indian executing agencies to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as have been or may be entered into between them for purchases of products and/or services required for the implementation of the said projects, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.
- (3) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraphs (1) and (2) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.
- (4) A part of the Loan may be used to cover eligible local currency requirements for the implementation of the projects enumerated in the Project List.
- 4. The Government of India will ensure that products and/or services mentioned in subparagraphs (1) and (2) of paragraph 3 are procured in accordance with the guidelines for procurement of the Fund, which set forth, inter alia, the procedures of international tendering to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.
- 5. The Government of India will, upon request, furnish the Government of Japan and the Fund with information and data concerning the progress of the implementation of the projects enumerated in the Project List.
- 6. Japanese nationals whose services may be required in India in connection with the supply of products and/or services mentioned

ためインド

^

の

入国及び滞在に必要な便宜を与えられ

る。

両政

府

は、

借款に基づい

て購入される生産

物

の海上輸

送及

関

し、

それぞれ

の国

の関係法

令の範

囲内で、

両

税

子 等 の 免

7 妨げることのあるい 国の海運 び海上保険に

会社及び海上保険会社の

間

の公正かつ自

由

な競争を

かなる直接又は間接の制

限

も課さない

0

8 ベ 子に対 ての財政 インド して又はそれ 政府 課 は、 徴金又は租税を免除 基 らに関連してインドに 金につい て、 する。 借款及びそれから生ずる利 おいて課され るす

9 る。 インド 政府は、 次 のことを確保するために必要な措置を

لح

(a) 使用され 借 款 が ること。 適正にか つ専ら事業計 画表に掲げる計 画 の ため に

(b) の ため 借 款に に 適 基づいて 正 に か 建設される施設がこの了解に定める目 つ効果的 に維持され及び 使 用され るこ 的

10 あるい 両政府 か なる事 は、 この了解から又はそれ 項についても相互に協 に関連して生ずること 議する。 の

協

議

れ ば幸いでありま 本使は、 閣 下 が す。 前記 の 了 解をインド政府に代わっ て確認さ n

意を表します 本使は、 以上 を 申 し 進 めるに際 Ų ここに閣下に 向 か

つ

て

敬

一四六

therein for the performance of their work. necessary for their entry into India and stay shall be accorded such facilities as in sub-paragraphs (1) and (2) of paragraph 3

the may hinder fair and free competition between directly or indirectly, any restrictions that of their respective countries, from imposing, the the scope of the relevant laws and regulations Loan, the 7. With regard to the shipping and marine insurance two countries. shipping and marine insurance companies of of products purchased under the two Governments will refrain, within

Fund from all fiscal levies or taxes imposed and interest accruing therefrom. in India on and/or in connection with the Loan 8. The Government of India will exempt the

9. The Government of India will measures to ensure that: take necessary

Project List; and exclusively for the projects (a) the Loan be used properly and exclusively for the projects listed 'n the

effectively for the purposes prescribed in Loan be maintained and used properly and this understanding. (d) facilities constructed under the

other in respect of any matter that may arise from or in connection with this understanding 10. The two Governments will consult with each

behalf of the Government of would confirm the foregoing understanding on I should be grateful if Your Excellency

highest consideration. extend to I avail myself of this Your Excellency the assurance of opportunity to my

千九百九十一年十二月九日にニュー・デリーで

インド駐在

日本国特命全権大使 小林俊二

インド大蔵省経済問題担当次官

モンテク・シン・アルワリア閣下

(Signed) Shunji Kobayashi Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to India

His Excellency
Dr. Montek Singh Ahluwalia
Secretary Economic Affairs
Ministry of Finance of India

							計画
総額	保護・観光基盤整備計画5 アジャンタ・エローラ遺跡	4 アラバリ山地植林計画	3 地方都市上水道整備計画	2 国道二号線拡幅・改良計画	計画(Ⅱ) 計画(別) 計画(別) 対ンダール火力発電所建設		事業計画表
六百六十億八千二百万円	三十七億四千五百万円	八十億九千五百万円	六十七億八千八百万円	四十八億五千五百万円	四百二十五億九千九百万円	(限度額)	
Total	5 Ajanta-Ellora Conservation and Tourism Development Project	4 Afforestation Project in Aravalli Hills	3 Urban City Water Supply Project	2 National Highway-2 Improvement Project	l Gandhar Gas Based Combined Cycle Power Project (II)		Project List
66,082	3,745	8,095	6,788	4,855	42,599	(Maximum amount in million yen)	

(訳文)

の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次

日本側書簡)

本官は、 更に、閣下の書簡に述べられた了解をインド政府に

代わって確認する光栄を有します。

意を表します。 本官は、 以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬

千九百九十一年十二月九日にニ ュ • デリー で

インド大蔵省経済問題担当次官

モンテク・シン・アルワリア

インド駐在

日本国特命全権大使 小林俊二閣下

(Indian Note)

(インド側書簡)

New Delhi, 9th December, 1991

Excellency,

receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows: I have the honour to acknowledge the

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of India the understanding set forth in Your Excellency's Note.

my highest consideration. extend to Your Excellency the assurance of I avail myself of this opportunity to

(Signed) Montek Singh Ahluwalia Ministry of Finance of India Secretary Economic Affairs

Plenipotentiary of Japan to Ambassador Extraordinary and Mr. Shunji Kobayashi His Excellency India

(参考)

与することについての両政府の了解を確認したものである。 この取極は、海外経済協力基金がインド政府に対し、六百六十億八千二百万円までの円借款を供